

2020年8月

「奥多摩 石尾根」水彩画 田嶋 徹



ダリア(420×594 mm、紙に水彩、2019)

を描くことが出来るようになるという田嶋徹氏。目に見えるものを見尽くしたその先には、見えないものが描かれる世界が広がると確信している作家の新作、花や苔などの静物画約 15 点を展覧いたします。

※美学校・・・美学校（びがっこう 美学校）とは、1969年（昭和44年）2月、現代思潮社（出版社）の川仁宏らによって創立された東京神田神保町にある美術・芸術の専門校。ロゴデザインは赤瀬川原平氏。

■略歴：田嶋 徹 Tajima Toru
1969年 東京都生まれ
1988年 美学校細密画教場修了

- ・会 期:2020年8月26日(水)～9月14日(月)
- ・会 場:日本橋高島屋 S.C. 本館 6 階 美術画廊X

高校を卒業後やることのない時期にたまたま雑誌宝島に掲載されていた美学校の広告を見て入学を決意した田嶋徹氏。当時、絵を描きたいとか、何かを表現するという事は考えたこともなく、表現という行為自体より職人的技術を身につけたかった田嶋氏は、細密画教場に入りました。実際想像以上に根気のいる作業に描いた時間と労力がそのまま、ただ行為全てがそこに現れるところに細密画の魅力を感じると言います。

今展では、奥多摩を登山して見つけた花々を中心に、博物標本画の技法を基に独自の細密水彩画法で描く作品を展覧。描き始めてから、モチーフの細部にいたるまですべてが見えているわけではなく、描いていく過程でその都度見えている形や色の関係を、破綻が起きないように慎重に重ねていく事で、今まで見えていたものの中にさらに細かいディテールが見え、それ

【お問い合わせ】日本橋高島屋 S.C.本館 TEL 03-3211-4111(代表)